

監督・競技者注意事項

1. 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもと進行する。
2. 開門時間は、7時00分（第1ゲート）とする。
 - ① ベビーカー、キャスター付きの荷物搬送車はスロープを使用する。車椅子の方は、正面玄関受付で対応する。
 - ② マーカー等でのスタンドの座席確保は禁止する。
 - ③ 横断幕・のぼり等の設置は、ホームストレートのスタンドのみとする。設置については観覧者の妨げにならないようにすること。
3. 受付について
チーム受付は、7時00分から7時30分の間に1階ロビーで行う。チーム代表者1名が以下の書類（コピー可）を持参すること。スマートフォン等の画面での提示は認めない。
 - ① 今大会のエントリーシート
 - ② 大会参加費振込証（ATM 又はネットバンキングの振込証等）
4. 撮影について
一眼レフカメラなどを使っの撮影については、受付時に許可証として安全ピン付リボンを各クラブに配付する。
5. 補助競技場（サブトラック）について
 - ① 補助競技場は7時15分から使用可能とする。
 - ② 補助競技場には競技者、大会役員、リストバンドを付けている指導者以外は入場できない。
 - ③ リストバンド配付枚数は県登録指導者数とし、各クラブ最大6枚とする。
 - ④ 選手だけの使用は事故防止のため禁止する。リストバンドを付けている指導者が付き添うこと。指導者は周囲の安全確認を行い、事故防止のため最善の注意を払うこと。
 - ⑤ 今大会に出場する選手以外が練習で使用することはできない。
 - ⑥ 練習用ハードルは主催者が用意したものをを使用すること。各クラブの持ち込みは禁止する。
 - ⑦ 補助競技場内に設置したテント等全ての道具は16時まで撤収すること。
 - ⑧ 競技途中で雨天のため雨天練習場を使用する場合は、雨天練習場の使用が開始した時間で補助競技場の使用は終了とする。
6. 雨天練習場について
 - ① 雨天練習場は雨天時のみ使用する。雨天練習場の使用開始についての判断は運営側が行う。
 - ② 雨天練習場には競技者、大会役員、リストバンドを付けている指導者以外は入場できない。
 - ③ 雨天練習場へは、外から回ってバックストレート側の大きなシャッターから入ること。スタンドからはアクセスできない。
 - ④ 雨天練習場内のレーンの使用は係員の指示に従うこと。
 - ⑤ 雨天練習場内へのハードル、ミニハードル等の持ち込みは禁止する。
 - ⑥ ハードルの練習時間は、基本的に補助競技場の場合と同じとするが、利用状況によって変更になる場合がある。
7. 補助役員について

- ① 受付係及び補助競技場係は 7:00 にロビーに集合する。
- ② ①以外の補助役員受付は、8:00～8:10 の間に第 1 会議室で行う。補助役員打合せは、8:10 以降競技場内のスタンド下で行う。
- ③ 補助役員は、補助役員の実施中に応援、指導、アドバイス、写真撮影を行うことは禁止する。

8. 競技場について

- ① 大会役員、補助役員以外は競技場に立ち入ってはならない。
- ② フィールド競技の指導、アドバイスは、各競技ごとに設置されたコーチングエリアより、リストバンドを付けた指導者が行うこと。

9. 選手の招集について

- ① 招集完了時刻までに招集所（全種目とも北サブゲート）で点呼を受けること。確認できない場合は棄権とみなす。
- ② 招集場には競技に出られる服装（アスリートビブスをシャツの胸と背につけた状態）と競技に使用するスパイク・シューズを持参して集合する。
- ③ 800m の腰ゼッケン（シール式）は招集所で配付する。

10. シューズ・スパイクについて

ノン・スパイクシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。（スパイクのピンは全種目 9 mm を超えないものとする。ニードルピンは使用可とする。）シューズについては靴底が全種目 30mm 以内とする。JAAF からの通達により小学生には 20mm ルールは適用しない。ピンの長さ、靴底の厚さは招集の際に目測で行うが、判断が難しい場合は計測器を使用して計測する場合がある。シューズ、スパイクが今回の規則を超えた場合は、オープン参加とする。

11. スタートについて

- ① スタートの合図はイングリッシュコマンドで行う。
- ② 不正スタートについては、同一競技者が 2 回フライングをした場合には失格とし、オープン参加として走る。
- ③ 5, 6 年生の 100m、共通 80mH、4×100mR の第一走者はクラウチングスタートとする。予選はスターティングブロックを使用しない。決勝はスターティングブロックを使用するが、使用しなくてもよい。
- ④ 4 年生の 80 m のスタートはスタンディングスタート、クラウチングスタートのどちらでもよい。予選はスターティングブロックを使用しない。決勝はスターティングブロックを使用してもよい。
- ⑤ 3 年生の 80 m のスタートはスタンディングスタート、クラウチングスタートのどちらでもよい。予選、決勝ともスターティングブロックは使用しない。
- ⑥ 3・4 年生のスタンディングの姿勢は次のとおりとする。
「オン・ユア・マークス」で後ろ脚を引く。
「セット」で前脚に重心をかけて腰を少し沈めて静止する。
「号砲」でスタートする。
- ⑦ 800m はスタンディングスタートとする。

12. 危険防止のため、各走者はゴール後も自分のレーンを走り減速する。

13. 決勝進出者について

80 m、100 m、80 mH は予選を行う。80 m と 80 mH は予選上位 8 番までの競技者が決勝に進出する。100 m は、A 決勝は予選上位 8 番までの競技者、B 決勝は予選 9 番～16 番までの競技者が進出する。各決勝のボーダーライン上で 1000 分の 1 まで同タイムが出た場合は、9 番目の選手が決勝に進出する。入賞

は、A 決勝出場者の中で確定する。

14. 80mハードルについて

- ① ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュラインまで11mとする。
- ② 80mハードルの補助競技場での練習時間（バックストレート7,8レーン×5台）
8時30分から12時10分まで

※ハードルの練習の際には必ず指導者が付き添うこと。各クラブが持参するハードルは持ち込み禁止とする。

15. 800mは、タイムレース決勝で実施し、1位から8位までを決定する。800mのスタートはオープンスタートとする。

16. リレー競技について

- ① リレーのオーダーは、オーダー用紙に記入し、招集開始60分前までに選手受付（正面玄関内ロビー受付）に提出すること。予選のオーダー用紙は、受付時に配付する。決勝のオーダー用紙は、予選終了後決勝進出チームに対して正面玄関内ロビー受付で配付する。予選・決勝とも、リレーを棄権するチームは、その旨をオーダー用紙に記載し必ず提出すること。
- ② 男女混合4×100mリレーは男女各2名で編成し、男女の走順は自由とする。メンバー変更は、補欠として登録されている選手からのみとし、他の競技に出場している選手からの変更は認めない。
- ③ リレー競技に出場する選手のユニフォームは原則としてチーム全員とも同じデザインとする。但し、男女による型の違い、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニフォームのタイプを選択、また、異なるメーカーのユニフォームを着用することも認めるものとする。
- ④ すべてのバトンパスにおいてテイク・オーバー・ゾーンの外から走り出さないこと。
- ⑤ バトンを渡し終わった走者は、走路が空くまで自分のレーンにとどまること。
- ⑥ バトンパスの途中で、あるいはバトンパスが完了していない状態でバトンを落とした場合は渡し手（前走者）が拾うこと。バトンパスが完了し、受け手（後走者）が唯一の保持者となった後にバトンを落とした場合は、受け手が拾わなければならない。バトンを落とした場合、競技者はバトンを拾うために自分のレーンから離れることができるが、その場合、走行距離が短くなること、および他の競技者を妨害することがあってはならない。フィニッシュラインを通過する際は、当該チームの最終走者がバトンを持っていなければならない。リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカーを前走者が必ず回収する。マーカーは各クラブで準備する。

17. 走幅跳について

試技数は3回とし、上位8名がさらに3回の試技を行って順位を決定する。

18. 走高跳について

- ① 跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。
- ② 自分が申告した高さから試技を開始し、3回続けて失敗した時点で終了とする。
- ③ バーの上げ方は次のとおりとする。

○ 男子：（練習：1m）1mから競技を開始する。

男子	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m28	1m31	以降3cmずつ
----	------	------	------	------	------	------	------	------	---------

○ 女子：（練習：90cm）90cmから競技を開始する。

女子	90cm	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m18	1m21	以降3cmずつ
----	------	------	------	------	------	------	------	------	---------

19. ジャベリックボール投について

- ① ジャベリックボール投の競技は投擲競技場で行う。招集は北サブゲートの招集所で行う。
- ② 試技は3回とする。
- ③ 助走距離は15m以内とする。
- ④ 試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。
- ⑤ ジャベリックボール投の練習は投擲競技場で行うこと。
- ⑥ 投擲競技場での練習時間
女子：8時00分から9時15分まで
男子：11時30分から12時45分まで
※練習の際は、必ず指導者が付き添い、安全に十分に配慮すること。

20. 抗議について

- ① 予選では結果の正式発表後15分以内、決勝では結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。
- ② 抗議場所は選手受付（TIC）とする。抗議用紙を、リストバンドを付けた指導者（監督、コーチ）が記載し、リストバンドを付けた指導者（監督、コーチ）がTICに提出する。抗議用紙はTICで受け取る。
- ③ 正式発表時間は、電光掲示板に結果が表示された時間を基準とする。

21. 表彰について

各種目上位3位まで表彰する。競技終了後に表彰式を行うので、呼び出されたら速やかに玄関内に集合すること。4位から8位の賞状は受付に置いておくので代表者が引き取りに来ること。

22. その他

- ① 各選手の荷物は、各クラブ、個人で責任をもって管理すること。
- ② ゴミは、各クラブ、個人で持ち帰ること。